

■こんにゃく入りゼリーによる窒息死亡事故一覧（平成21年6月10日 内閣府国民生活局）

窒息事故発生日	窒息被害者		原因製品等		窒息事故時の状況等				備考	
	性別	年齢	製品名 メーカー名	摂取時の製品温度 (※)	事故当時の概況 (注) 相談者の申し出情報に基づいています	窒息事故時の被害者の状況(例: 遊びながら食べた、寝ながら食べたなど) (※)	原因製品の食べ方(例: 吸い込んだ、丸呑みした、スプーンで小分けしたなど) (※)	製品を与えた者 (※)		
1	1995年7月19日	男性	1歳6か月	不明	凍結状態	・凍らせたポーション型こんにゃく入りゼリーを1歳半の息子が食べたところ、のどにつまらせ死亡した。パッケージから出し、口に入れて出したりしていた。そのうちゼリーを1口にほおぼしてしまった。せき込んだ状態になり、みるみるうちに顔色が悪くなり、あわてて家族のものが近くの病院へ連れて行き、応急処置をしてもらい、その後、救急車で設備の整った病院へ運ばれたが、入院後約40日後に死亡した。 ・ゼリーの大きさは高さ3、5センチ直径3センチくらいだった。	急に咳き込んだようになり、喉に詰まらせた。	頬張った	不明	
2	1995年8月7日	男性	6歳	不明	不明	・こんにゃく入りゼリーを子供が食べていて、喉に詰まらせた。 ・近所の病院へ連れて行き、応急処置をしてもらい、その後救急車で救急救命センターへ運ばれた。 ・意識が一度も戻らないまま5日後に死亡した。	不明	不明	不明	
3	1995年12月23日	女性	82歳	不明	不明	・老人福祉施設に入所中の82歳の母が、こんにゃく入りゼリーを食べて喉に詰まらせ、仮死状態で発見された。 ・隣接している病院で治療を受けたが、6日後に死亡した。 ・施設では、こんにゃく入りゼリーは与えていないとのことなので、誰かにもらったものなのかもしれない。	老人福祉施設に入所中	不明	不明	
4	1996年3月	男性	87歳	不明	不明	・友人の父のお悔みにいったらこんにゃく入りゼリーが原因で亡くなったようだ。新聞記事を見たことがあったので報告にきた。高齢でありもの忘れもあった。体力も弱わっていたということだった。	不明	不明	不明	
5	1996年3月17日	男性	68歳	不明	不明	・夫がこんにゃく入りゼリーを食べて喉に詰まらせ窒息死した。もらった物なのでメーカー名は不明。	不明	不明	不明	
6	1996年3月29日	男性	1歳10か月	不明	不明	・息子がこんにゃく入りゼリーを喉に詰まらせ、救急車で病院に運ばれたが心肺停止状態で死亡した。日頃からこんにゃく入りゼリーは食べていた。普段は一度口に全部を入れ、再びパックに戻し、かんで小さくして口に入れて食べていた。事故当時も同じように食べていたと思われる。母親は近くにいなかったが他の家族がすぐ近くにいた。母親が逆さにして背中をたたいたが口を堅く閉じて吐かなかった。近くの個人病院から総合病院に移送したがすでに死亡していた。	不明	一度口に全部を入れ、再びパックに戻し、かんで小さくして口に入れていた模様	不明	
7	1996年6月10日	男性	2歳1か月	不明	冷蔵庫で冷やしていた	・冷蔵庫で冷やしてあったこんにゃく入りゼリーを親がちぎって半分にして食べさせたところ、のどに詰まらせた。すぐに親が気づき、逆さにしてたたいたが取れず、指をのどに入れて出そうとしたが、歯ざりりのように手をかまれて出せなかった。心肺停止の状態ですぐ救急車で病院へ運ばれた。入院7日後に死亡。 ・外袋には幼児に与える場合の注意書きがあった。半年ぐらい前から与えていた。	不明	ちぎって半分くらいにして与えた	親	
8	1996年6月29日	男性	6歳	不明	冷蔵庫で冷やしていた	・6才の男児が親戚に行き、4才のいとこが冷蔵庫から持ってきたこんにゃく入りゼリーを容器より直接吸い込んだところ、喉に詰まらせ苦しくなり家人に助けを求めた。 ・事故が起きたときにそばに大人はいなかった。気づいたときには声が出ない状態で苦しんでいた。あわてて背中を叩くなどの応急処置を施し、直ぐに救急車を呼んだ。 ・救急車内で応急手当をするが、心臓停止の状態ですぐ病院へ運ばれた。入院して9日たった今も、自発呼吸ができない状態である。(その後、7月17日死亡)	不明	吸い込んで食べた	いとこ	
9	1999年4月	女性	41歳	不明	不明	・2か月前に、入院中の姉がこんにゃく入りゼリーを気管につまらせ窒息死。損害賠償ではなく、危険な商品である事を知らせたい。精神科病院に入院していた。物をかまずにのみ込んでしまう傾向はあった。同室の人からもらった物でメーカー等は不明。病院で事故処理をしたが担当者はゼリーが柔らかく吸いがうまく出来なかったと言っていた。	精神科病院に入院中	不明	同じ病室に入院していた人	
10	1999年12月4日	男性	2歳	不明	冷蔵庫で冷やしていた	・自宅台所にてこんにゃく入りゼリーを、ふたをはずして男児に与えた後、母親が離れの冷蔵庫にもう一個取りに行き、数分で台所に戻ったところ、男児がテーブルの上に仰向けでぐったりしているところを発見	不明	不明	母親	
11	2002年7月	女性	80歳	不明	不明	・被害者の息子がこんにゃく入りゼリーをスプーンで小さく切って与えていたところ、喉に詰まらせ救急車で運ばれ低酸素症で入院した。3ヶ月後に死亡。	不明	スプーンで小分け	息子	
12	2005年8月3日	女性	87歳	不明	不明	・こんにゃく入りゼリーをのどに詰まらせ5日後に死亡した。ゼリーはコンビニで購入したもの。	不明	不明	不明	
13	2006年5月25日	男性	4歳	不明	不明	・母親が台所で夕食の支度をしている際、別の部屋でこんにゃく入りゼリーを兄と取り合って食べていた。兄にこんにゃく入りゼリーを取られたくないために慌てて食べていたと思われる。喉に詰まらせた状況を兄が母に伝え、慌てて救急車を呼んだが死亡した。	兄と取り合って食べようとしていた	不明	不明	
14	2006年6月22日	男性	79歳	不明	不明	・夫がペースメーカーの手術をした後、自宅で療養中、食欲がなかったため、自宅にあったこんにゃく入りゼリーをスプーンで4分の1ずつつくって食べさせた。2回目を口にしたところ、気管に詰まらせて苦し始めた。背中をたたいたところ、1つは出てきたが、もう一つが詰まったままであった。救急車を呼んで病院に搬送してもらったが、死亡した。	手術後食欲が無く自宅療養中	スプーンで1/4ずつ2回食べさせる	不明	
15	2007年3月23日	男性	7歳	不明	ちぎりたて果熟園 蒟蒻ゼリー (株) エースペーカリー	・学童保育でおやつとして与えられたこんにゃく入りゼリーを食べたところ、喉に詰まらせ、救急車で搬送されたが亡くなった。	学童保育中に与えられる	不明	不明	
16	2007年4月29日	男性	7歳	不明	収穫のおかけ 蒟蒻ゼリー (下仁田物産)	・祖母宅にて母親がこんにゃく入りゼリーを与え、1人で食していたところ、詰まらせて洗面所に向かうところを発見。救急車で搬送されたが、5月5日亡くなった。	不明	不明	母親	
17	2008年7月29日	男性	1歳9か月	不明	冷凍庫で冷やした後、食事前に取り出していた	・祖母宅にて、昼食後、祖母が兄と男児に原因食品をカップから取り出した上で与え、手に持っているところまで祖母は見ていた。 ・気がつくと、苦しうにしている、呻いて倒れ顔色が悪くなる。 ・病院に救急搬送されたが、9月20日亡くなった。	カップから取り出し手に持っていた	不明	祖母	

※原因製品等のうち「摂取時の製品の温度」、並びに、「窒息事故時の状況等」のうち「窒息事故時の被害者の状況」「原因製品の食べ方」「製品を与えた者」の記述については、「事故当時の概況」の記述から推測したものを記載したものであり、事実関係が必ずしも確認されたものではない